

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況等を
短くまとめて紹介します



ニューヨーク事務所

CSG 年次総会への参加

2022年12月7日から10日にかけて、全米州政府協議会＝The Council of State Government (CSG) 年次総会がハワイ州ホノルルにて開催されました。CSGは、米国の州、属領、コモンウェルスの立法、司法、行政の三権に関わる公選職、任命職（知事、州議会議員、各種行政官など）を支援するための団体であり、州政府に対して、調査、情報提供やリーダーシップのための研修などを行っています。

約1,140名の参加による2022年度の年次総会では、教育、環境、福祉、経済など様々なトピックに関するセッションが開催され、特に多くの分野でパンデミックが与えた影響とその後の回復に向けた取り組みについて活発な議論が交わされました。クレアニューヨーク事務所はこれらのセッションに参加して情報収集を行ったほか、日本の6道県（北海道、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、沖縄県）と姉妹提携をしているハワイ州政府を訪問し、交流事業の実施状況や今後の予定などについて意見交換を行いました。

また、総会開催期間中、JETAA ハワイ支部のメンバー7名と意見交換会を実施しました。メンバーからは、日本滞在中の思い出や、それがその後自分たちの人生にどのような影響を与えたかについて聞くことができました。JETプログラム終了後、既に10年程度経過しているメンバーもいましたが、米国に帰国後も日本との関わりを持ち続けてくれており、JETプログラムが日米の友好関係の維持、向上に大きな役割を果たしていることについて再認識するよい機会になりました。



オープニングで披露されたハワイの伝統的な踊り



セッション中の様子



シンガポール事務所

日本の地方の食材の魅力を伝える料理教室をシンガポールとタイで開催

クレアシンガポール事務所では、2022年10月から11月にかけて、ABC クッキングスタジオと連携して、日本の地方の食材の魅力を伝える料理教室をシンガポールとタイ（バンコク）で開催しました。両国ではそれぞれ日本の3つの自治体から自慢の食材をご提案いただき（シンガポール：静岡県・福井県・大阪府、タイ：福井県・兵庫県・富山県）、いずれも多くの参加者で賑わいました。

レッスンにはインフルエンサーや地元メディアを招待し、レッスンの様子・日本産食材などについて広く発信する機会を設けました。また、各会場で自治体PR動画の上映や、自治体のグッズ・観光パンフレットの配付など、物産だけでなく観光も含めた地方の魅力発信を行いました。

レッスンで使用した食材はシンガポールおよびタイの両国の参加者の間で大変好評で、食材自体の魅力を伝えるだけでなく、参加者が日本の自治体を知るきっかけにもなったほか、アンケートを通じて、食材の購入意向や地域への訪問意向など、自治体の新たな需要開拓の参考となるデータも得ることができました。



レッスンの様子（タイ）



レッスンの様子（シンガポール）



ロンドン事務所

自治体職員の日線から、英国や欧州各国の「今」を発信しています！

クエアロンドン事務所では、英国をはじめとするロンドン事務所所管国のホットな情報について、自治体からの派遣職員（Assistant Director）が自ら執筆する「AD レポート」でお届けしています。新型コロナウイルス感染症の影響により、日本から海外への渡航が難しい状況の中、英国・ロンドンにおける現地の様子や、各地域・自治体における先進的な取り組みなどをお伝えするために発信をはじめました。その後も継続的に発信しており、これまでに70を超えるレポートで日本の皆様にお伝えしてきました。

レポートの内容は、日本でも高い関心が寄せられているネット・ゼロの達成や英国におけるデジタル化推進に向けた取り組み事例の紹介のほか、欧州における図書館事情や、植民地時代の歴史を再認識する英国の動きなど、多岐にわたるテーマや視点で現地の情報をお届けしています。

今後もロンドン在住の自治体職員ならではの目線から、実体験などに基づく様々な情報を発信していきますので、クエアロンドン事務所ウェブサイトよりぜひご覧ください。AD レポートのウェブページ https://www.jlgc.org.uk/jp/research/ad_

2022 年度掲載記事の例

- ・欧州における図書館事情 ～ドイツ・オランダ・英国における、まちに開かれた本棚～
- ・オランダの自治体における気候変動対策のための広告規制
- ・ヘルシンキ市における IT 人材確保に向けたブランディング戦略～『Helsinki Freedom』キャンペーンについて～
- ・ロンドン・トラファルガー広場の新しいモニュメントと植民地時代の歴史を再認識する英国の動き
- ・英米の『ブラックキャピタル』における地域間連携の取組 ～Brixton（ロンドン）× Harlem（ニューヨーク）～
- ・職員研修としてエクセター・シティ及びティーンブリッジ・ディストリクトを訪問



北京事務所

料理体験を通じた日本の魅力発信事業を実施しました

クエア北京事務所では、2017 年度から ABC Cooking Studio 中国法人（ABC）と連携して、「料理体験を通じた日本の魅力発信事業」を実施しています。今年度は5自治体と協力し、中国各地の ABC 教室において自治体の観光 PR や郷土料理の調理体験イベントを計4回行いました。

イベントには毎回約30～40名の中国人の方が参加され、自分で作った地域的美食に舌鼓を打つ姿が見受けられました。調理体験のほかにも自治体職員による観光 PR や記念品が当たるクイズ大会が行われ、終始和やかな雰囲気で開催できました。

参加者の方に感想を聞いたところ、「ずっと興味のあった日本料理が体験できてよかった」「観光スポットについても深く知ることができ、実際に行ってみたくなった」といった声が多く聞かれました。本事業を通じて、中国の方の日本への食・観光に対する根強い興味・関心や、インバウンド施策の重要性を感じ取ることができました。

当事務所では、引き続き、中国における自治体の活動や魅力発信を幅広く支援してまいります。

【2022 年度 実績】

協力自治体	実施メニュー	開催日程	開催場所
山形県	芋煮など	2022 年 9 月 17 日	上海市
長崎県・沖縄県	五島うどんなど	2022 年 12 月 10 日	福建省アモイ市
大阪市	お好み焼きなど	2022 年 12 月 17 日	広東省深セン市
秋田県	きりたんぽなど	2023 年 2 月 11 日	江蘇省南京市



調理直後の様子



集合記念写真



ソウル事務所

自治体訪問研修「NICE 忠南 2022」に参加しました！

クエアソウル事務所では、2022 年 12 月に海外の地方公共団体との相互理解に基づいた緊密な交流を推進するため、忠清南道が世界各国の地方公務員などを対象に開催した「NICE 忠南 2022」に参加してきました。今回は、ヨーロッパや他のアジアの地方公務員とともに、660 年まで朝鮮半島に存在した百済の首都であった公州市と扶余郡を訪問し、百済の歴史・文化などを学ぶことができました。百済は、朝鮮時代にあった新羅、高句麗に並ぶ3大国の1つです。663 年の白村江の戦いで新羅に攻め込まれた際、日本からも多くの人々が駆け付け共に戦った歴史があるなど、古くから日本との交流が深い地域でもあります。

一部日程での参加でしたが、百済の歴史・文化はもちろん、一緒に参加した他の国の地方公務員との交流を通じて、多くの知見を深める良い経験になりました。

忠清南道では、百済の歴史・文化を全世界に伝えようと、例年、大百済展を開催しており、2023 年は、9 月 23 日（土・祝）から 10 月 9 日（月・祝）までの開催に向けて準備を進めているようです。皆さんも、一度、日本と交流の深い百済の歴史や文化を学びに忠清南道を訪れてみてはいかがでしょうか。



公山城（公州市）



定林寺址石仏坐像（扶余郡）



シドニー事務所

豪州多文化主義政策交流プログラムを開催

2022年11月14日から19日までの日程で、「豪州多文化主義政策交流プログラム」をメルボルンにて開催しました。

このプログラムは、自治体職員および地域国際化協会職員などが、全人口の約3割が海外生まれという豪州における多文化主義政策や先進的な取り組みを実地で学び、日本における多文化共生施策の企画立案などに役立ててもらうことを目的に毎年開催しているものです。

今回、コロナ禍での行動制限の緩和などを受け、3年ぶりに実地で開催することができ、全国から13人の参加者をお迎えすることができました。参加者は、ビクトリア州消防庁やメルトン市などの政府機関、学校、NPOなど合計9の機関を訪問し、それぞれの先進的な取り組み事例を学びました。また、各機関の職員との意見交換で、率直かつ貴重な情報を得ることができました。

クレアシドニー事務所は、引き続き多文化主義が社会に根付くオーストラリアにおける取り組みについて知見を深めていくとともに、得られた知見を日本の地方自治体への活動支援などに活かし、多文化共生のまちづくりを支援していきます。



ビクトリア州消防庁で行ったオリエンテーションの様子



メルトン市長らとプログラム参加者



パリ事務所

「Maison & Objet 2023」に日本の自治体が出展しました

インテリアの国際見本市「Maison & Objet」(メゾン・エ・オブジェ)が、2023年1月19日から5日間、パリ郊外で開催されました。日本からは73団体が出展し、東京都、京都府、和歌山県、高知県などの自治体が伝統技術を活かした製品を展示しました。

青森県のブースでは、「Re」をテーマに、リサイクル、リユーズ、リメイク技術を用いた製品を紹介していました。特産であるリンゴの間伐材から作られた椅子や一輪挿し、漁業用の浮玉の技術を活かしたガラスの花瓶や食器、古くなった布を裂いてひも状にし、新たな布として再生する裂織の技法を使ったポーチなどが並び、来場者の注目を集めていました。フランスではエコの考えが人々に広く浸透していることもあり、多くの来場者が「Re」をテーマにした青森県の製品に興味深く見ていました。

クレアパリでは、こうした機会に来仏された自治体へ、フランスの現状の説明や視察先の調整などを行っています。また、クレアパリでも、自治体の伝統工芸品を紹介する企画展を実施しています。より効果的に日本の文化や産業を発信できるよう、今後も支援していきます。



裂織で作られたキーホルダーやブローチ



浮玉の技術を使ったガラス製品とリンゴの木で作ったインテリア



交流親善課

3年ぶりに対面式で海外自治体幹部交流協力セミナー（シンガポール事務所管内）を実施しました！

2022年11月27日から12月3日までの7日間、東京都と福島県郡山市において東南アジア各国およびインド、スリランカの自治体や関係団体の幹部8名を迎え、セミナーを開催しました。東京都では、明治大学の木村俊介教授による日本の地方自治制度について講義を受けました。

郡山市では、「選ばれ、住み続けられる地域づくりについて～持続可能なレジリエントシティ～」のテーマに基づき、国立環境研究所および福島県環境創造センターを訪問し、再生可能エネルギーの発電状況や気候変動がもたらす影響、環境動態研究などの説明を受けました。また、エフコムドリームラボ上伊豆島や郡山市逢瀬ふれあいセンターなど視察し、地域活性化に取り組んでいる方々と意見交換を行いました。

同市との意見交換会では、参加者から、これまでの訪問や視察を踏まえ、個別具体的な質問や意見が挙げられるなど、セミナー参加者、受入自治体共に気づきの多い機会となりました。



郡山市主催夕食歓迎会



国立環境研究所の視察

JET プログラム事業部

JET プログラムキャリアビジョン形成 WEB セミナーを開催しました

クレアでは、JET プログラム参加者のキャリア支援事業を実施しています。その一つとして、2023 年 1 月 28 日、JET プログラムキャリアビジョン形成 WEB セミナーを開催しました。本セミナーは、自身のキャリアビジョンを明確にすることを目的として、任期最終年の JET プログラム参加者を対象に開催しています。日本での就職活動に関する情報や履歴書の作成方法など基本的な部分を中心に説明し、また、民間企業に勤める JET プログラム経験者と相談できる時間を設け、これからのキャリアアップに向けた疑問や不安の解消を図りました。

本セミナーの内容が記載されたキャリアビジョン形成ガイドブック（日・英版）をクレアのホームページに掲載しておりますので、ぜひご活用ください。（<https://jetprogramme.org/ja/careersupport/careervision-webseminar/>）

また、本セミナーの動画を 3 月末まで限定公開しています。閲覧を希望する方は、クレア調整課（afterjet@clair.or.jp）までお問い合わせください。

2 月 26 日（日）に東京、3 月 4 日（土）に大阪で開催する JET プログラムキャリアフェアに参加される前に、就職活動の一助としてぜひご覧ください。



セミナーの様子

経済交流課

2022 年度 第 2 回 食を通じた地域のプロモーション・交流事業を実施しました！

クレアでは、日本およびアジア各国に料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio（東京都千代田区丸の内）と連携して、日本の地域の魅力を海外に向けて発信し、海外販路開拓やインバウンド観光促進につなげることを目的とした、地域の「食」と「文化」を体験できるツアー形式のプロモーション事業を行っています。

2022 年度第 2 回目のツアーでは、新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和されたことから、ABC Cooking Studio のシンガポール教室に通う生徒 4 名を招へいし、山形県山形市・同中山町で実施しました。

日本の食や文化に関心があり、SNS の発信力がある招へい者には、ツアーの目的である「芋煮」をはじめ伝統文化体験・観光名所など、山形の様々な魅力を海外に向けて発信していただき、需要の喚起や認知度の向上を図りました。

今後も引き続き、地域の魅力発信をサポートしてまいります！事業の詳細はホームページをご覧ください。<http://economy.clair.or.jp/activity/project/>

■お問い合わせ

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



「芋煮会（中山町）」で、芋煮を食する参加者と中山町観光協会の方（中央）

多文化共生課

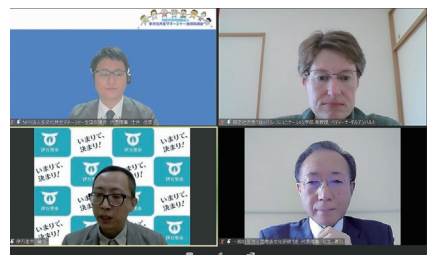
「2022 年度多文化共生の担い手連携促進を目指した研修会」を開催しました

多文化共生の推進に向けて、多文化共生マネージャーなど多文化共生の専門知識を備えた「多文化共生の担い手」の連携・協働が求められています。このため、クレアでは 2019 年度より、地域レベルおよび全国レベルで担い手のネットワーク構築・強化やスキルアップを目指した研修を実施しており、今年度は「やさしい日本語」をテーマに掲げました。また、研修は 2 部制とし、第 1 部は 2022 年 11 月 25 日にオンラインで、第 2 部は 2022 年 12 月 13 日に宮城県仙台市で開催しました。

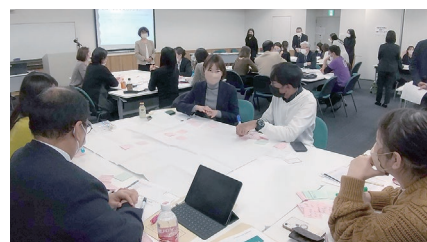
第 1 部は外国人有識者の方を交え、パネルディスカッション形式で、やさしい日本語を広めていく上で大切にしたいことを話し合いました。300 名を超える方にご参加いただき、参加者からは「機械翻訳や、やさしい日本語は万能ではないことが分かった」「相手に伝えるだけでなく、相手の話していることを理解しようとする“やさしい耳を持つこと”も同様に大事だと気付くことができた」との声が挙がりました。

対面形式で実施した、第 2 部は 32 名の方にご参加いただき、やさしい日本語の活用に向けた講義や事例紹介の後、外国人住民の方と参加者でディスカッションを行いました。研修の合間には、各地の担い手が交流を深めるなど、今後の活動推進への連携が期待できるものとなりました。

研修の詳細は、ホームページにてご紹介しています。引き続き、本事業を、継続的な学び・広域連携の場として積極的にご活用ください。



パネルディスカッションの様子（第 1 部）



グループワークの様子（第 2 部）